

01 教会ニュース

祝福、祝福の2018年

待望の新年を迎え、神が私たちの教会に下さった四つのビジョンを通してやがて目の前に繰り広げられる豊かな恵みと祝福を心に描いてみる。

02 いのちのみことば

イエス様の十字架上の七つのことば(1)

イエス様は十字架につけられて死なれる瞬間までも人類のために愛の求めをなされ、信仰を見せた強盗に天国への希望を下さった。

03 企画特集

実を結ぶために何を蒔いていますか？

どんな状況でも喜びの種を蒔き、すべてのことに感謝の条件を見つけ、絶えず御霊によって祈れば、霊肉ともに美しい実を結ぶ。

支教会2月スケジュール

04 証し

最も良いものを下さる神様の愛～

「万民教会」に出会って祝福があふれているという台湾のヤオ・ランシャン牧師と、慢性中耳炎と突発性難聴がいやされた韓国のペ・ジョンソク執事の証し。

万民ニュース

第183号 2018. 1. 28.

MANMIN NEWS

TEL: 82-2-818-7063

www.manmin.org

神の栄光が さらに大いに現れる2018年



2017-2018年新旧送迎礼拝を控えて、堂会長イ・ジェロク牧師は2017年最後の主日夕方礼拝の直後、本聖殿で教会総会を導いた。その場を借りて、2018年一年で、神が与えようと備えられた祝福と、国内外の1万1千余りの支・協力教会とともに全聖徒が祈って神に栄光を帰そうと願う、四大ビジョンを発表した。

ヘブル人への手紙10章22節に「そのようなわけで、私たちは、心に血の注ぎを受けて邪悪な良心をきよめられ、からだをきよい水で洗われたのですから、全き信仰をもって、真心から神に近づこうではありませんか。」とあるとおり、真心と全き信仰に変えられると、主の主である神に愛され、祝福されることができる。

やされ、悪霊から解放され、家庭、職場、事業の場での問題を解決されるなど、神の驚くべきみわざが現れる。終わりの時、神の摂理にあつて建築する大聖殿は、救われる魂が水が押し寄せて来るように集まって来るまことの聖殿なので、起きて光を放つ聖徒が備えられるほど、大聖殿建築も早まる。

ビジョン1 再創造の力によって「空間運営」を完全に行う聖なる働き

ヨハネの福音書14章12節に「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしを信じる者は、わたしの行くわざを行い、またそれよりもさらに大きなわざを行います。わたしが父のもとに行くからです。」とあるように、再創造の力によって空間を運営する方法を完全に体得すれば、心に抱いたとおり、初めの声を発して最適な実、最上の実を結ぶことができる。

神が備えられた祝福が門の前に来ているので、それにふさわしい器を備えるには、真心と全き心に変えられるために心を割礼して、真理を満たさなければならない。いくら悪がはびこっている世であっても、牧者の愛と公義を信じて、初めの光と声に頼って、明白な悪はもちろん、邪悪な良心、本性の中に深く隠されている悪まで捨てることができる。最も美しい天国である新しいエルサレムを慕うなら、信仰の岩を過ぎて御霊の歩みに入り、そして全く聖なるものとされ、さらに深い段階に入って祝福の時に大きい喜びにあずかるように。

ビジョン4「霊の愛」がさらに完全に臨む教会を建て上げる働き

第一コリント13章13節に「こういうわけで、いつまでも残るものは信仰と希望と愛です。その中で一番すぐれているのは愛です。」とあるように、霊の愛は神のまことの子どもとされて新しいエルサレムに入る栄光を得られるので、最も大きい賜物である。

ビジョン3「まことの聖殿」を建て上げるために起きて光を放つ聖徒の働き

イザヤ書60章1節に「起きよ。光を放て。あなたの光が来て、【主】の栄光があなたの上に輝いているからだ。」とあるように、主を受け入れて聖霊を賜物として受け、御霊によって霊を生み出すなら、御霊の人、全く聖なるものとされて、光を放つことができる。

神は2007年、心に一つを抱いて講壇で宣言すれば、そのまま祝福が臨んで栄光を帰すようにする、と言われた。その時、強く心に働きかけられたものがまさに「霊の愛」である。それで、私たちの教会に神の愛がさらに深い次元で繰り広げられたし、2010年からは「愛なる神」が聖徒の心の中に刻まれた。神は、2018年、霊の愛がさらに完全にこの教会に臨むようになる、と言われた。

ビジョン2「真心と全き信仰」を慕って答えられる大きい喜びの働き

このように起きて光を放つ聖徒が建築した聖殿でこそまことの聖殿であり、神の心と思いが宣べ伝えられ、聖霊の力によって病気やわずらいがい

空間の運営を通して実に驚くべきみわざが目の前に繰り広げられる待望の2018年、新年には真心と全き信仰を持ち、起きて光を放って霊の愛を完全に実践し、牧者とともに終わりの時の摂理を大いに実現していく主役になられるように。

イエス様の十字架上の七つのことば(1)



堂会長イ・ジェロク牧師

父よ。彼らをお赦してください。
 彼らは、
 何をしているのか
 自分でわからないのです。」
 「まことに、あなたに告げます。
 あなたはきょう、
 わたしとともに
 パラダイスにいます。」
 (ルカ23:34,43)

イエス様が木の十字架にかけられて死なれたとき、遺言のように言われたことがある。ただ神のみこころに従って、人間の救いの道を完成する時点で、最後に残されたイエス様の十字架上の七つのことばの第一、二のことばに込められた霊的な意味を調べてみよう。

第一のことば「父よ。彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。」

神の御子であるイエス様が残酷な十字架刑にあわれたのは人類の罪のゆえだった。死の刑罰を受けるべき罪人となった人類に代わって、すべての苦しみにあわれたのだ。このようなことを知らなかったローマ軍の兵士とイスラエルの民は十字架につけられたイエス様をまるで凶悪な罪人であるかのようにさげすんであ

ざけた。

しかし、イエス様は黙々と十字架の苦しみにあわれただけでなく、かえって彼らの罪を赦してくださいというとりなしの祈りをささげられた。イエス様を十字架につけてあざける人々のために、一歩進んで、闇の中にとどまっているすべての人類のための祈りだった。このようなイエス様の愛の求めのゆえに今日、数えきれないほどの人が救われるようになったのだ。

何の罪もなく十字架につけられて罪人のために愛をもって祈られたイエス様は、主を信じる神の子どもたちも、すべての人を愛して赦すことを望んでおられる。それで、主の祈りも「我らに罪を犯す者を、我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。」と祈るように教えられた。また、私たちが不当に迫害されても、悪をもって対抗したり、わだかまりを抱いたりせず、ただ善をもって対することを望んでおられる(マタイ5:44~45)。

したがって、救われた神の子どもたちは、ご自分を十字架につけてあざける罪人をも愛されたイエス様を見習わなければならない。主にあつて兄弟を愛することはもちろん、敵をも赦して愛さなければならないのだ。

第二のことば「まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます。」

イエス様の左右には十字架刑を受けているふたりの強盗がいた。ひとりの強盗はイエス様をあざげったが、反対側の強盗はむしろ彼をたしなめた。そして「イエスさま。あなたの御国の位にお着きになるときは、私を思い出してください。」とお願いする。するとイエス様はその信仰をご覧になって「まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます。」と約束なさった。このみことばの中には多くの霊的な意味が込められている。

まず、天国の場所「パラダイス」について教えてくださいということだ。使徒パウロは「パラダイスに引き上げられて、人間には語ることを許されていない、口に出すことのできないことばを聞いた」と言った(第二コリント12:2-4)。その他にも、聖書のあちこちには「天と、天の天」

「天の天」などの表現が出て来るので、天がいくつかあることがわかる(第一列王8:27;ネヘミヤ9:6;申命記10:14)。私たちの目に見える肉の天の他にも、霊の世界の天がある。

第三の天、すなわち、天国がある空間には、使徒パウロが引き上げられたパラダイスがあるかと思えば、新しいエルサレムなど、いくつかの場所に分けられている。新しいエルサレム(黙示録21:10~11)は天国でも最上の段階の天国であり、主のかたちに似せられて、すべての罪と悪を完全に脱ぎ捨てて、全家を通じて忠実であった人々が入れる所である。

十字架につけられて救われた強盗は死ぬ直前に主を受け入れた。だから、心の罪と悪を捨てる時間もなかったし、主のために忠実に仕えたのでもなく、かろうじて救いの資格を得ただけだった。このような人々はパラダイスに行くようになるが、そこは天国でも最も低い場所である。パラダイスと新しいエルサレムの間にも、天国はいくつかの段階に分けられていて、各人の聖められた程度と信仰と忠実度に応じて、とどまる場所が変わってくる。

このように天国が分けられていることは、種を蒔けば、その刈り取りもするようになるなり、行いに応じて報いをお与えになる神の公義である。つまり、この地上で私たちがどれほど罪を捨てて、聖なる主のかたちに似せられたかによって、天国の場所が変わるのだ。それぞれの場所によって栄光と報い、幸せと権勢が違ってくる。それで、<第一コリント15:41>に「太陽の栄光もあり、月の栄光もあり、星の栄光もあります。個々の星によって栄光が違います。」とあるのだ。

本当に信仰があれば、何としてでもよりすばらしい天国に入ることを慕わなければならない。<マタイ11:12>に「バプテスマのヨハネの日以来今日まで、天の御国は激しく攻められています。そして、激しく攻める者たちがそれを奪い取っています。」とあるとおり、罪を捨てて主に似せられたほど、よりすばらしい天国を攻めて入れるのだ。

仮に皆さんの中に、ねたみ、そねみ、さばき、罪に定める、憎しみ、裏切り、悪賢さ、欲、憤り、姦淫など、このような罪をそのまま持って天国に入る人がいるなら

ば、天国はこれ以上聖なる幸せな場所とは言えないだろう。それで、天国には罪と悪を持って行くことができず、善と御霊によって変えられたものだけを持って行く。また、その信仰の量りが似ている人どうし同じ場所に集まって暮らす。この地上でも同じ年頃の人たちと一緒にいるのもっと楽しいように、天国でも似た水準の信仰を持っている人々が一緒に暮らすので、さらに安らかで幸せなのだ。

次に、イエス様が「あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます。」と言われたことは、強盗と一緒に天国のパラダイスにとどまられるという意味ではない。復活、昇天された主イエス様は天国の主として神の御座がある新しいエルサレムにおられるが、天国全体を統治しておられるので、このように言われたのだ。

「きょう」と言われたのも、十字架につけられたまさにその日を意味するのではなく、救われた時点から彼がどこにいても主がともにおられる、という意味である。したがって、私たちが主を受け入れて救われれば、その日から主が私たちを覚えておられ、ともにおられるのである。

それでは、十字架で死なれた後、イエス様はどこへ行かれたのだろうか。これについて聖書には「人の子も三日三晩、地の中にいるからです。」とあり(マタイ12:40)、「彼(訳注・キリスト)がまず地の低い所に下られた」と説明されている(エペソ4:9)。また「その霊において、キリストは捕らわれの霊たちのところに行って、みことばを語られたのです。」と記されている(第一ペテロ3:19)。イエス様は十字架で死なれたその日、捕らわれの霊たちのところに行って、福音を語られた。ここで「捕らわれの霊たち」とは、イエス様が十字架を負って救い主になられる前に死んだ人々の中で、救いを受けることのできる人々のことを意味している。

愛する聖徒の皆さん、

イエス様は十字架につけられて死なれる瞬間まで、すべての人類のために愛の求めをして、信仰を見せた強盗には天国への希望を与えてくださった。十字架の愛によって、救いはもちろん、天国を攻めて行く幸いな聖徒になられるように、主の御名によって祈る。



Tel: 82-2-818-7063
 Fax: 82-2-818-7048
 www.manmin.org
 e-mail: jujinkyung@hotmail.com



Tel: 82-2-824-7107
 Fax: 82-2-813-7107
 www.gcntv.org
 e-mail: webmaster@gcntv.org



Tel: 82-2-818-7039
 Fax: 82-2-830-5239
 www.wcdn.org
 e-mail: wcdnkorea@gmail.com

万民ニュース

Japanese

発行人: イ・ジェロク
 編集者: ピン・グンソン
 www.manmin.org/Japanese
 www.manminnews.com
 編集発行: 万民中央教会
 〒08389 韓国ソウル市クロ区デジタル路26キル29
 TEL: 82-2-818-7063 FAX: 82-2-818-7048

スリランカ・エジプト・パキスタン牧会者セミナー及びハンカチ集会

キル・テシク牧師を講師に11月27日から12月6日まで行われたスリランカ・エジプト・パキスタン牧会者セミナーとハンカチ集会(使徒19:11~12)はいのちのみことばと神の力の込められたハンカチを通して生ける神を見つけて体験するみわざが起こる中、多くの魂がイエス・キリストを受け入れて救いを得、牧会者が目を覚まし、聖霊にあって一つになる祝福の時間だった。



▲ スリランカ牧会者セミナー(2017.11.28)



▼ スリランカ・ハンカチ集会(2017.11.29)



▼ エジプト牧会者セミナー(2017.12.1)



▼ エジプト・ハンカチ集会(2017.12.2)



実を結ぶ人生

農夫が実を刈り取るために、種を蒔いて刈り取る作業がなければならぬように、霊的にも、まず蒔いてこそ刈り取ることができる。どんな状況でも喜ぼうと努め、喜びの種を蒔くほど喜びの実が結ばれて、いつも喜んでいることができる。また、すべてのことに感謝の条件を見つけて、心から感謝するとき、感謝できる恵みが加えられ、感謝の条件が多くなる。祈りもどんな状況でも努めて蒔いていくとき、より大きい祈りの力と答えを実として刈り取ることができる。これまで自分がどう蒔いて刈り取ったのか、三つの分野で調べてみよう。

どんな状況でもいつも喜んでいますか？

私たちの中に救いの喜びだけ満ちていても、どんな状況でもいつも喜んでいられることができる。永遠の地獄の刑罰から抜け出して、想像できない天国の栄光を下さる、全能の神を父と呼ぶ、驚くべき祝福をいただいたからだ。使徒パウロは福音を伝えながら数えきれないほど迫害されて苦しみを受けたが、誰も彼の心にある喜びを奪うことができなかった。むちで打たれて牢に閉じ込められていても、かえっていつも主にあ

て喜びなさいと勧めた(ピリピ4:4)。ひょっとして現実の困難によって受けた恵みを忘れて、つらくて気を落したり、肉の思いに縛られて聖霊に満たされなくなって、使命を手放し、避けようとしてはいないか、いるべき場所にはかろうじているが、いやいや使命を果たしてはいないのか、自分をチェックしてみられるように。神の恵みと天国への希望が心にぎっしりあれば、どんな瞬間も喜びが泉のように湧き上がるので、困難がすみやかに祝福に変わって、霊的にもさらに早く成長できる。

神の愛を信じてすべてのことに感謝していますか？

創造主の神、最も良いものだけ下さる父なる神を信じるならば、どんな試練に会ってもただ感謝できる。自分の欠けているところのゆえに真理にあって完全に行えなかったとしても「神様が私を愛しておられる」という事実と「私のすべての事情を知っておられ、すべてにおいて勝てる力を下さること」を確信するので、最後まで信仰によって感謝すれば、すべてのことを働かせて益として下さり、祝福に変わるのだ。もし不平不満を言って悲しんでつぶやくならば、どれほど信仰とか

け離れているのかを悟らなければならない。信仰があるならば、自分が欠けているほど、弱者を強くして完全にしてく下さる神の力に感謝できるし、現実が困難なほど、祝福を下さる神のゆえに感謝できる。そうするとき、神は、どんな状況でも完全に感謝の告白だけする心に結ばれた感謝の実をご覧になって、その信仰のとおりにお答え、祝福の実を刈り取るようになさるだろう。

行いのある信仰をもって絶えず祈っていますか？

「神様とお話をする」祈りの時間がつらくて負担になるならば、神を愛することではないので、祝福の実を刈り取ることはできない。もしよく祈れなくて停滞しているようだったら、どれほど喜んで感謝しているかを顧みられるように。いつも喜んでいて感謝する人は必ず聖霊に満たされて祈るようになり、さらに深い次元へと突き抜けて行く。祈りがつらくて大変な時ほど、さらに神の恵みに渴いて祈るようになり、さらに切に主を呼び求めて強くされ

よう求めるので、一段階、一段階、霊的に突き抜けて行くのだ。ひょっとして祈っていても祝福されないようならば、それだけ信仰の行いが足りないということを悟らなければならない。行いが伴ってこそ、神がともにおられて祝福してく下さり、大きい器に作っていかれるので、時が来れば、さらに大きい答えと祝福をいただくことができる。喜びと感謝とともに、行いのある信仰をもって絶えず祈り、霊肉ともに美しい実を刈り取られるように。

2月支教会スケジュール

2月4日(日)	東京万民教会	ハンカチ集会(講師:崔乘蘭牧師)	2月25日(日)	大阪万民教会	リバイバル癒し聖会(講師:キム・モニカ牧師)
2月25日(日)	飯田万民教会	創立24周年記念礼拝(講師:柳スズキ牧師)	2月25日(日)	東京田端万民教会	特別癒し集会(講師:鄭・庚泰牧師)
2月25日(日)	名古屋万民教会	癒し集会(講師:時國みや子牧師)	2月28日(水)	飯田万民教会	権能のいやし聖会(講師:柳スズキ牧師)
2月25日(日)	舞鶴万民教会	リバイバル癒し聖会(講師:キム・マルコ牧師)			

「聖潔の福音を通して、祝福された 主のしもべになりました」



ヤオ・ランジャン牧師(56歳、台湾シンジャン万民教会)

若い頃に福音に接した後、主の働き人として忠実に仕えている間、誓願の祈りをささげました。交通事故で昏睡状態になった父を助けてくだされば、命尽くして主に仕えます、と祈ったのです。その結果、父は生き返りました。

当時39歳で、小さい子どもたちもいましたが、私は神学校に入学して、4年間キリスト教音楽を勉強しました。小さい頃から音楽が好きだったので、教会でピアノの演奏や指揮などで献身しようとしたのです。ところが、私の志とは違って、神様は私を、魂を顧みる主のしもべの道へと導かれました。

2005年、教会の若者を引率して、シンガポールの大きい教会が台湾で主催した宣教訓練プログラムに参加しましたが、この期間ずっと神様はみことばを武器として身に着けるように働きかけてくださいました。大きい教会でみことばを学ぶ過程を踏んだ後には、シンガポールはもちろんマレーシア、中国にまで宣教に行き、みことばを伝えるようになりました。

そうしていた2008年、シンガポールで出会ったエステル・シム執事を通して「万民教会」について聞き、「万民賛美」があることも知ることになりました。私はこの世に神様が下さった賛美があるということが驚きで、万民中央教会を訪問しました。

はたして万民賛美はとて恵み深かったし、私が願っていた美しい賛美でした。堂会長イ・ジェロク牧師先生の祈りで塩辛い水が甘い水に変わったムアンの甘い水の泉(出エジプト15:25)にも行ってみました。

霊的な場所に行ったので、私も霊の目が開かれて、御使いが取り囲んで私を眺めているのを見ました。とても幸せで涙が出て来ました。このような体験までしたら、堂会長先生はどのような方なのか、さらに知りたくなりました。

堂会長先生の著書『十字架のこぼれ』『信仰の量り』『天国』を読みふけて、神様の愛と聖潔の福音の真髄を味わって、霊的に新しく生まれるようでした。特にイエス・キリストを通じた救いの摂理が込められた『十字架のこぼれ』で「蛇に一生、ちりを食べなければならぬ」(創世記3:14)

と仰せられたことが、敵である悪魔・サタンが罪の中で生きている肉の人々を餌食として、試練、患難、災いをもたらすという霊的な意味を持っていることを知って、明快なメッセージに驚くばかりでした。聖書に込められたまことの意味を悟らせてくれる聖潔の福音があつてとても感謝したし、この幸いな知らせを宣教に行くたびに伝えました。

2009年、イスラエルのエルサレムで開かれた「イ・ジェロク牧師招へいイスラエル連合大聖会」にも参加しました。私の目の前で、歩けなかった人々が杖を捨て、車椅子から立ち上がり歩き始め、視力が良くなってメガネを捨て、数えきれないほどの人が聖霊の火でいろいろな病気がいやされて、喜んで証しをしたのです。堂会長先生の祈りの威力、神の力あるわざは実にすばらしいものでした。

2010年には韓国のムジュで開かれた「万民夏のキャンプ」に参加して、神様がともにおられる教会であることがさらに確信できました。その後、私は神様の導きのうちに教会を開拓し、2014年、万民の支教会に正式加入することになりました。

私たちの教会はGCN放送で各種の礼拝とダニエル徹夜祈禱会に参加して、いろいろな面で祝福されています。7年間みごもれなかった聖徒が妊娠し、下肢が麻痺していた青年が正常になりました。私もやけどと老眼、胸の痛みがいやされたし、ムアンの甘い水で二重まぶたもできました。

また、聖徒たちが物質の祝福も受けていくので、家庭教会から今は聖殿を備えた教会になりました。いのちのみことばで変えられて、日々の暮らしの中にいやしと祝福の証しがあふれているので、私は本当に祝福された主のしもべです。ハレルヤ!



▲台湾シンジャン万民教会はGCN放送で礼拝とダニエル徹夜祈禱会に参加し、聖徒が祝福されている。



ペ・ジョンソク執事(62歳、韓国チャンウォン万民教会)

「慢性中耳炎、突発性難聴が いやされて聴力も回復しました」

私は10歳の時、右耳に水が入ったのですが、治療を適切な時に受けられなくて、慢性中耳炎になってしまいました。50年間余り耳だれが出て、いつもカット綿で拭き取らなければならなかったし、鼓膜がへこんで骨が溶けてなくなり、音も全く聞こえませんでした。ところが2012年、チャンウォン万民教会に通ううちに、耳だれが完全になくなりました。

その後2017年5月、左耳が突然詰まった感じがして聞こえなくなりました。病院では突発性難聴と言われて、お医者さんは完治が難しいと言って、私に補聴器を勧めました。

左耳一つで生きてきましたが、これさえよく聞こえないから困り果てました。信仰によって神様にいやしていただくこと、信仰の基礎メッセージである堂会長イ・ジェロク牧師先生の説教「十字架のこぼれ」を繰り返し聞きました。

ある日、夜寝る前に説教を聞いて、堂会長先生のいやしの祈りを受けましたが、その日の夢の中に堂会長先生がとても柔和な微笑みを浮かべて私を訪ねて来られました。「なせばなるのに…」と言って、切に祈ってくださいました。

私は夢で祈りを受けた後、夢うつつに耳の中の神経と細胞が本来の位置に戻って行くように感じました。朝起きてみると、前とは違って気分がとてもさわやかでした。浴室に入って水道の蛇口をねじったのですが、「ジャーッ」と水の音が聞こえました。自分の足音、電子レンジが回る音も聞こえました。本当に不思議で驚いたことに、左耳だけでなく、聴力を失っていた右耳にも、かすかな音が聞こえ始めたのです。

病院に行って確認してみると、左耳の聴力がよみがえったし、正常な人より良好だと、お医者さんもびっくりしました。さらに8月、「万民夏のキャンプ」のいやしの集会の時には、堂会長先生の祈りを受けた後、左耳にわずかに残っていた「ブーン」という音まで完全に消えただけでなく、右耳も前よりよく聞こえます。ハレルヤ!

医学で治せない私の耳をいやして下さった創造主の神様にすべての感謝と栄光をお帰しし、祈って下さった堂会長先生にも感謝します。

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

・イエス・キリスト飯田万民教会
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>

・名古屋万民教会
〒465-0014 名古屋市長東区上菅 1-916
T) 052-774-8874

・イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771

・イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980

・イエス・キリスト大阪万民教会
〒591-8023 大阪府堺市北区中百舌鳥町5-775-15
T) 098-914-3027 FAX兼用
<http://www.osmanmin.com/>

・イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光台4条 3丁目 11-23
T) 0166-53-0652

・イエス・キリスト東京田端万民教会
〒114-1102 東京都北区田端新町3丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>

・イエス・キリスト松本万民教会
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003

・イエス・キリスト舞鶴万民教会
〒624-0913 京都府舞鶴市上安久 138
T) 0773-75-5656
<http://www.manmin.jp/>

・岡山万民教会
〒716-1321 岡山県高梁市有漢町有漢3206
T) 0866-57-9691

・イエス・キリスト東京万民教会
(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740

・イエス・キリスト沖縄万民教会
〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-28-10 サンライフ米須301号
T) 098-988-9472